

# 「大刀洗空襲」を知っていますか？



## 東洋一の飛行場

現在の朝倉市（旧甘木市）・筑前町・大刀洗町にまたがる山隈原に、戦前、東洋一とうたわれた旧陸軍大刀洗飛行場が存在しました。

1919年（大正8年）10月に完成したこの飛行場は、大正末期には日本最大の航空部隊が駐屯する飛行場となりました。

昭和10年代には、陸軍航空兵に対する飛行機操縦教育の拠点ともなり、後に特攻隊員となる多くの航空兵が教育を受けました。特攻隊の出撃基地で知られている、鹿児島県の知覧飛行場は、大刀洗陸軍飛行学校の分校です。

そのような重要拠点ゆえにアメリカ軍の標的となり複数回の爆撃を受け、飛行場関係者のほか、多くの民間人も犠牲になりました。



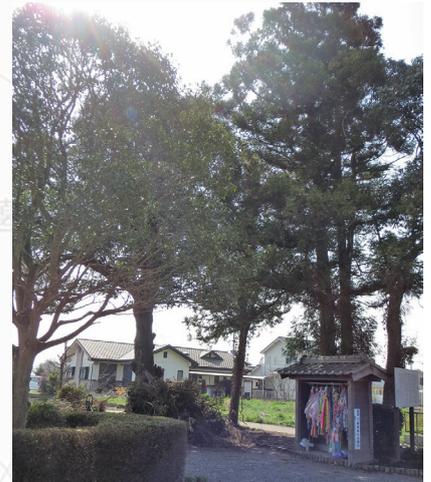
▲ 熊ヶ山



## 「頓田の森の悲劇」～甘木立石村（現朝倉市）～

1945年（昭和20年）3月27日、大刀洗飛行場が初めての空襲に見まわれました。

この日、甘木の立石国民学校では終業式が行われていましたが、途中で打ち切り、地域別に集団下校をしました。このうち、一木方面へ下校中の児童が頓田の森に避難しましたが、不運にも投下された爆弾の一発が避難中の児童31名の命を奪いました。



現在の頓田の森

航空機製作所

太刀洗

高田

西鉄甘木線

馬田

文

朝倉市

陸軍病院

文

飛行学校  
甘木生徒隊

滑走路

上浦

甘木

一ツ木神社（現朝倉市）には、爆撃により一瞬にしてわが子の命を奪われた保護者の、戦争への憤りや恒久平和の願いが込められた「延命地蔵」が建てられています。



倉市立図書館の前にたっています。子どもたちとともに爆撃にあったシイの木。平和を祈念するモニュメントとして、現在朝